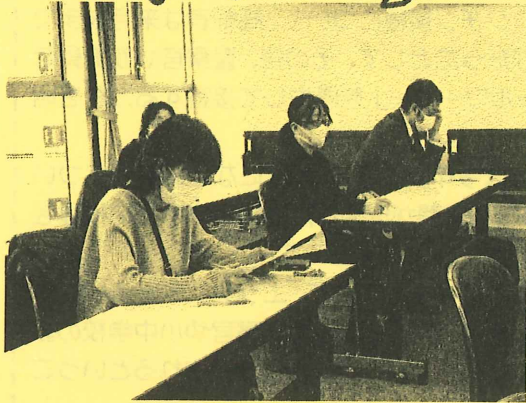


職場の声を届けるす！



春日部教育ニュース
うめぼし

NO. 909
春日部市教職組合
情宣部発行



春教組は、7月14日に教育委員会交渉を予定して
います。すでに春日部市教育委員会に届けた「生き生
きと働きたいのある職場づくりのための要求書」の回
答をもとに交渉を行います。

今回の交渉の主な重点を紹介
します。

① ICカードが導入され、 その後については

昨年度からICカードが導入さ
れたが、そのデータをどう把握し
ており、今後の働き方改革にどう
活用していくのか、市教委として

の指針を明確にすること。

② 「割振り変更簿」の活用は

「割振り変更簿」の活用を呼び
かける管理職も増えてきている
が、安易に「振替は長期休業中だ」
という管理職も多いようだ。教職
員の健康を考え、適当な時期に早
期に取れるよう、また取りやすい
ように指導してほしいこと。

③ 「負担軽減委員会」は

「負担軽減検討委員会」は継続
的な会議を持ち、職場の声を吸い
上げるシステムを整備しながら、
具体的な負担軽減策を毎年数項目
ずつ提案し、実現させてほしいこ
と。(他市で、支援担当訪問を隔年
にしているところもあります。ま
た、職場の代表を委員会に入れて
いるところもあります。)

④ 「衛生委員会」は

「春日部市立小・中学校職員」
の安全衛生管理規定が作成され、
昨年からは全小中学校でストレスチ

何かありましたら組合に
ご相談ください。

埼教組
TEL048-824-2511

埼教組
ホームページ
<http://www.kyouiku-net.org>

埼教組
メールアドレス
saikyouso@kyouiku-net.org

エックが導入されたのは大きな前
進だが、川口や越谷のように、50
人を超えなくても「衛生委員会」
を設置する方向で検討してほしい
こと。さらに、50人以上の職場に
は「衛生管理者」、50人以下の職
場には「衛生推進者」を置くこと
が義務付けられているものの、現
在、市内では資格を持つ衛生推進
者がほとんどいないので、養護教
諭や保健体育教諭を当て職として
いる状況。越谷市のように予算化
して講習の受講者を増やし、「衛生
推進者」を育てる研修をすすめて
ほしいこと。

⑤ 夏休みの研修は

(1) 市教委として研修を奨励
していること。(2) 研修の範囲は、
2学期以降の教材研究のためだけ
でなく、教師としての修養になる
もの(美術館巡り等)も入れた幅
広いものとして考えて良いこと。
(3) 研修の内容によっては、職
場を離れたものも認めること。
以上ことを例年通り確認してほ
しいこと。

⑥ 免許更新制度は見直しを

産休や病休の代員がなかなか見
つからない現状がある。その原因の
ひとつは、期限付き免許制度になっ
て、更新しないで免許が失効するこ
とで資格者が減少していること。ま
た、教職を希望する学生が減少して
いること等々。過密な勤務の中、更
新にかかる費用の自己負担であり、
この制度の問題は山積みで、すでに
この制度の破綻を多くの識者も指
摘している。免許更新制度を見直し
よう、国や県に働きかけをして欲し
いこと。

⑦ その他

臨採者の中での同一校2年目、3
年目の人数を教えてほしいこと。市
内で未配置未補充があれば、その件
数と学校名を教えてほしいこと。修
学旅行の可否も含めて、コロナ対策
をどう科学的に進めていくのか。ま
た、コロナ禍において、修学旅行の
時期を秋に変更した中学校も多い
が、今後さらなる感染拡大により、
キャンセルという事態になった場
合、市は補填してほしいこと。

昨年度の交渉では！

春日部市教委との交渉は、昨年
は、臨時での3回の交渉を含めて計
7回の市教委交渉を実施し、職場の
要求や声を届けてきました。

(裏面に続く)

カンパのご協力ありがとうございます。この「うめぼし」はみなさんのカンパによって支えられ発行しています。また、私たちの活動は、みなさんのカンパにより支えられています。今後も、カンパの御協力をよろしくお願いいたします。

埼玉ワクチン接種

高齢者の後は警察官や教職員など優先方針

埼玉県の大野知事は6月10日夕方、記者会見をし、新型コロナウイルスのワクチン接種について、高齢者は来月末までに完了させるめどがたったとして、その後、警察官や教職員などの「エッセンシャルワーカー」を優先して接種する方針を明らかにしました。

この中で大野知事は今年度65歳以上になる高齢者について、個別接種を行う医療機関が増えるため来月末までに接種を完了させるめどがたったということです。

その後は基礎疾患のある人とともに、エッセンシャルワーカーの接種を優先して行う方針で、対象は警察官や小中学校の教諭、それに保育士など、およそ80万人と推計されるということです。

このうち、警察官およそ4500人については不特定多数の人に接する機会があるうえ、東京オリンピック・パラリンピックの警備が始まることなどから今月12日から接種をはじめるとのことです。ほかのエッセンシャルワーカーについては8月から接種を本格化させることにしていて、県内の市町村には来月末までに全ての人に接種券を送付するよう、もともとということです。

大野知事は「まずは各市町村で実施してもらおうが、円滑な接種のため、県としても市町村の状況を見ながらバックアップしていきたい」と述べました。

教師の仕事の魅力を広め、減少が続く志望者を増やそうと、3月末に文部科学省がはじめた「#教師のバトン」プロジェクト。ねらいとは裏腹に、ツイッターには長時間労働などの「惨状」を訴える叫びがあふれてしまいました。

この春退職した都内の40代の女性は次のようにツイート「びっくりしたんです！19年間続けた小学校教員を辞めたら、7時半に我が子達と夕飯が食べられたんです。とんかつ揚げても7時半に頂きますが、この春退職した都内の40代の女性は次のようにツイート「びっくりしたんです！19年間続けた小学校教員を辞めたら、7時半に我が子達と夕飯が食べられたんです。とんかつ揚げても7時半に頂きますが、

厳しい労働環境を敬遠してか、教員を目指す若者は減少。公立小学校教員の20年度の採用倍率は、過去最低の2.7倍でした。

帰宅が午後9時を過ぎる日も多く、我が子たちの学校行事にも行けない。「子どもに直接かわることで以外の仕事が多かっただ」と振り返っています。

4月13日の臨時交渉では、感染拡大が心配される休校中の登校日の中止を申し入れ、その週に設定してあるものは実施になりましたが、21日からの10校の登校日は無くなりました。

5月27日の臨時交渉では、修学旅行のキャンセル料を市で保障する方向ですんでいることも確認できました。

3月4日の定例の交渉では、変形労働時間制の導入問題で、県議会が条例を通して「春日部市は導入しない」との明言をさせました。

職場アンケートにご協力を

2021年度過重労働・負担軽減のための職場アンケートを、6月末日締めきりで取り組んでいます。

既にご協力頂き、多数のアンケートの回収が進んでいます。ご協力ありがとうございます。まだの方もよろしくお願います。回収されたアンケートは集計し、市教委交渉の場で声を届けます。また、働きやすい職場をめざし、教育条件や待遇の改善など今後の活動に生かしていきます。

#教師のバトン

ツイッターに寄せられた声（抜粋）

○初めて月の超過労働時間が100時間を超えた。

残業代を計算してみたら時給80円

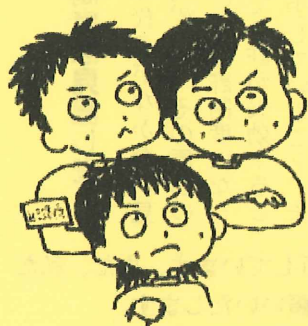
○教科書が新しくなるのに、毎日怒濤（どとう）のような日々でその教科書に触れる時間が1秒もない

○22時30分退勤。他の先生方も同様。残業代つけられないなら、本当に業務量減らしてください。苦しいです

○明日が不安で毎日泣いている。大好きな子どもには会いたいけど明日が来なければ良いのにと毎日思ってる

○時短制度はあるのに、育休明けにちゃんと取れるようになってないのが現実

○教員志望、高3です。教員なるの諦めるわ。希望を持ってないこんな労働環境じゃ



私たちの活動は、みなさんのカンパにより支えられています。
また、この「うめぼし」はみなさんのカンパによって支えられ発行
しています。

カンパのご協力をよろしくお願いいたします。